

長野県道路トンネル台帳・点検調書一覧

区分	長野県様式	名称	内容	走行画像計測システムによる点検 (今回業務)	従来点検 (別途業務)		
トンネル台帳	1-1	トンネル諸元	トンネル諸元、付属施設情報	/	既往の点検のものを必要に応じて修正		
	1-2	(坑口) 状況写真、平面図	坑口写真		既往の点検のものを必要に応じて修正		
	1-3	標準断面図、地質縦断面図、施工実績等	設計施工情報		既往の点検のものを必要に応じて修正		
	1-4	トンネル構造・設備位置情報等	スパン長、各施設位置等		既往の点検のものを必要に応じて修正		
	1-5	トンネル維持管理履歴表	維持管理情報		既往の点検のものを必要に応じて修正		
点検調書	2-1a	トンネル本体工健全度集計表	健全度ランク別、変状面積集計		/	打音検査、健全性の診断結果を踏まえ作成	
	2-1b	変状・異常箇所数集計表	健全度ランク別、変状数集計			打音検査、健全性の診断結果を踏まえ作成	
	2-2	トンネル本体工覆工スパン毎変状集計表	スパン毎の健全度別、変状面積、変状数集計表			打音検査、健全性の診断結果を踏まえ作成	
	2-3	トンネル内附属物異常箇所集計表	附属物健全度集計			打音検査、健全性の診断結果を踏まえ修正	
	2-4	トンネル全体変状展開図	変状展開図(CAD) の貼り付け			調書 (エクセル) に貼り付けるCADのベースを作成	打音検査結果等により変状展開図を修正し、調書に添付
	2-5※	トンネル変状・異常箇所写真位置図	変状写真番号と撮影位置			調書 (エクセル) に貼り付けるCADのベースを作成	打音検査結果等により位置図を修正し、調書に添付
	2-6※	写真台帳 (トンネル本体工変状写真)	変状写真、健全性診断結果			既往点検調書の写真の入れ替えなど、ベースを作成	打音検査、健全性の診断結果を踏まえ修正
	2-7	写真台帳 (附属物異常写真)	附属物の取付状態異常箇所写真			/	打音検査、健全性の診断結果を踏まえ作成
	2-8	トンネル付属設備健全度評価シート	LCC計算に必要な情報を集約				打音検査、健全性の診断結果を踏まえ作成
	2-9a	付属施設状況写真 (照明施設)	付属施設の外觀状況写真				既往点検調書の写真の入れ替えなど、ベースを作成
2-9b	付属施設状況写真 (非常用施設)	付属施設の外觀状況写真	既往点検調書の写真の入れ替えなど、ベースを作成	打音検査、健全性の診断結果を踏まえ修正			
LCC計算用	3-1	LCC計算情報シート (本体工)	LCC計算システム登録用	/	打音検査、健全性の診断結果を踏まえ修正		
	3-2	LCC計算情報シート (付属施設)	LCC計算システム登録用		打音検査、健全性の診断結果を踏まえ修正		

※ 国に報告する様式

作成調書イメージ

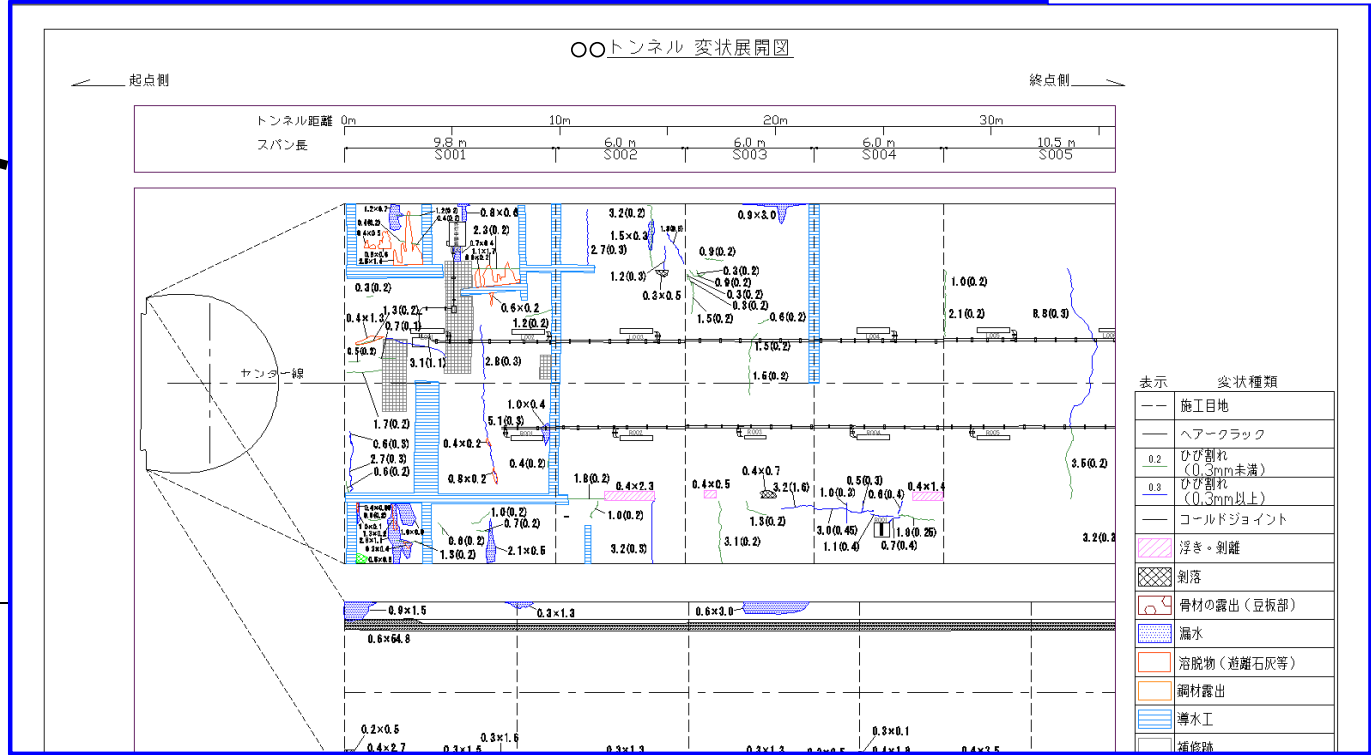
トンネル調書	【様式2-4】トンネル全体変状展開図				調製年月日
フリガナ	○○トンネル	路線名	国道○○号	点検業者・点検者名	点検年月日
名称	○○トンネル	管理者名	○○建設事務所	調査業者・調査技術者名	調査年月日

トンネル全体変状展開図

【サンプル】
青枠のCADデータを作成

トンネル変状展開図

従来点検業務でCAD編集後に
様式2-4(エクセル)に張り付け



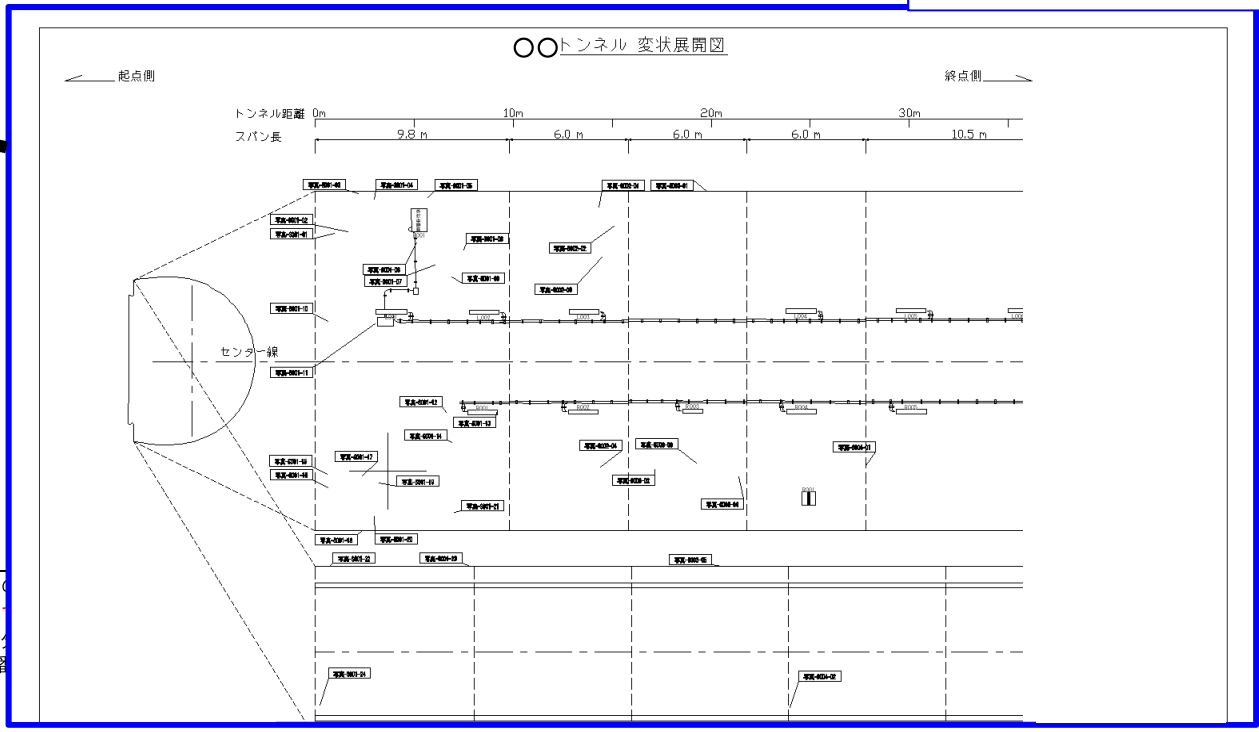
■定期点検記録様式 トンネル変状・異常箇所写真位置図

フリガナ 名称		〇〇トンネル		路線名	国道〇〇号		管理者名	〇〇建設事務所		トンネルID		
		〇〇トンネル								緊急輸送道路	有	
所在地		自	〇〇	定期点検業者				定期点検年月日		トンネル延長	L= 〇〇 m	
		至	〇〇	定期点検者名						トンネルの分類	陸上トンネル(その他)	
起点	緯度	〇〇		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体内	材質劣化	II	III	IV	トンネル毎 の健全性	附属物の 取付状態	○ (応急措置後)
	経度	〇〇				漏水	II	III	IV			×
終点	緯度	〇〇				外力	II	III	IV			
	経度	〇〇					II	III	IV			

【サンプル】
青枠のCADデータを作成

トンネル変状・異常箇所写真位置図

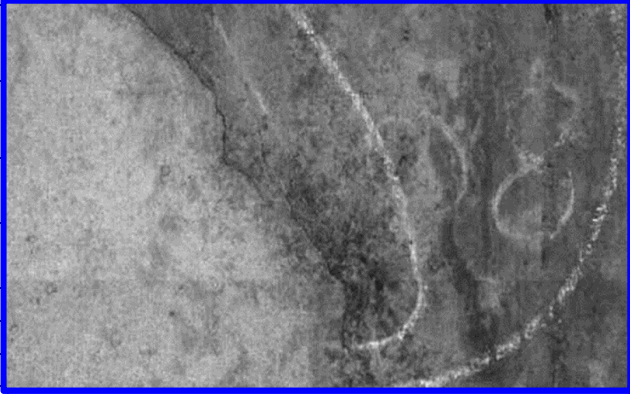
従来点検業務でCAD編集後に
様式2-5(エクセル)に張り付け



- ※1 トンネル本体内の変状数は、材質劣化、漏水に起因するもの
- ※2 本体内の変状に対しては、健全性の判定区分II~IVについて
- ※3 附属物の取付状態の○欄については、応急措置前に判定区分
- ※4 附属物の異常番号は、本体内と番号が重複しないよう101番

■定期点検記録様式 変状写真台帳

フリガナ 名称		〇〇トンネル 〇〇トンネル		路線名	国道〇〇号	定期点検業者	〇〇	定期点検年月日	〇〇〇〇/〇〇/〇〇
				管理者名	〇〇建設事務所	定期点検者名	〇〇		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S2			写真 番号	覆工 スパン 番号	S2		
	変状 番号	1				変状 番号	2		
変状 部位	対象 箇所	覆工・坑門			変状 部位	対象 箇所	覆工・坑門		
	部位 区分	側壁(左側)				部位 区分	側壁(左側)		
変状区分		漏水			変状区分		材質劣化		
変状種類		漏水			変状種類		ひび割れ		
健全性	応急措置前	Ⅲ			健全性	応急措置前	Ⅱ		
	応急措置後					応急措置後			
変状の発生範囲の規模		0.45㎡	縦1.5m×横0.3m		変状の発生範囲の規模		1.44㎡	幅0.8mm×長さ1.8m	
前回定期点検時の状態					前回定期点検時の状態				
調査方針					調査方針				
対策履歴					対策履歴				
実施状況(実施日)					実施状況(実施日)				
メモ					メモ		Ⅱb判定		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S2			写真 番号	覆工 スパン 番号	S2		
	変状 番号	3				変状 番号	4		
変状 部位	対象 箇所	覆工・坑門			変状 部位	対象 箇所	覆工・坑門		
	部位 区分	アーチ(左側)				部位 区分	側壁(左側)		
変状区分		材質劣化			変状区分		材質劣化		
変状種類		うき・はく離			変状種類		うき・はく離		
健全性	応急措置前	Ⅱ			健全性	応急措置前			
	応急措置後					応急措置後			
変状の発生範囲の規模		0.15㎡	縦0.3m×横0.5m		変状の発生範囲の規模		0.92㎡	縦0.4m×横2.3m	
前回定期点検時の状態					前回定期点検時の状態				
調査方針					調査方針				
対策履歴					対策履歴				
実施状況(実施日)					実施状況(実施日)				
メモ		目地部からの漏水、滴水、Ⅱb			メモ				



【サンプル】
青字・青枠を記入・写真添付
※新規TN2本については作成しない

※ 健全性(応急措置後)の判定区分Ⅱ～Ⅳについて添付すること。また、点検前に実施された措置によりⅠと判定された箇所も添付すること。
※ たたき落としを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
※ 附属物の取付状態に関する異常写真は様式2-7でとりまとめること。

※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。
※ 応急措置を実施しないで判定した変状の健全性は、健全性の応急措置後の欄に記入すること。
※ 健全性Ⅱの場合は、メモ欄にⅡa、Ⅱbの対策区分を明記すること
※ 変状の発生範囲の規模の記入方法の詳細は、様式2-6記入上の注意点を参照

